



万
 事
 成
 家
 福
 福

万
 事
 成
 家
 福
 福

下
 編



式亭虎之助作
五渡亭國貞画

全部十二冊

孝子貞婦
名譽仇討

風俗浪花鑑

此書は作者が例の作文として書法より大道
具大仕掛具仕立と云ふところありし一転向來の午の
春五渡出板の求め御評判の程編を致す

版元 山本平吉 欽曰

Book 1
 1. 孝子貞婦
 2. 名譽仇討
 3. 風俗浪花鑑
 4. 式亭虎之助作
 5. 五渡亭國貞画
 6. 全部十二冊
 7. 版元 山本平吉 欽曰

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, surrounding the illustration on the left page. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the gutter of the book.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, surrounding the illustration on the right page. The text is arranged in vertical columns, with some lines crossing the gutter of the book.



Vertical Japanese text columns at the top of the right page, likely serving as a title or introductory text for the scene below.



Vertical Japanese text columns at the bottom of the right page, likely providing dialogue or commentary for the scene.

Vertical Japanese text columns at the top of the left page, likely serving as a title or introductory text for the scene below.



Vertical Japanese text columns at the bottom of the left page, likely providing dialogue or commentary for the scene.

16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100



101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100



101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200

此の人物は、
 徳川幕府の
 重臣として
 活躍した
 人物である。
 彼の功績は
 幕府の発展
 に大きく
 貢献したと
 されている。
 彼の生涯は
 幕府の歴史
 において
 重要な一
 頁を占める。
 彼の人物像
 は、この
 挿絵に
 忠実に
 表現され
 ている。

此の挿絵は、
 徳川幕府の
 重臣の姿を
 写し取った
 ものである。
 彼の装束は
 幕府の格式
 に従って
 描かれて
 いる。彼の
 表情からは
 厳格な
 人物の
 印象が
 受け取れる。
 この挿絵は
 幕府の
 権威を
 象徴する
 存在として
 描かれて
 いる。



此の人物は、
 徳川幕府の
 重臣として
 活躍した
 人物である。
 彼の功績は
 幕府の発展
 に大きく
 貢献したと
 されている。
 彼の生涯は
 幕府の歴史
 において
 重要な一
 頁を占める。
 彼の人物像
 は、この
 挿絵に
 忠実に
 表現され
 ている。

此の挿絵は、
 徳川幕府の
 重臣の姿を
 写し取った
 ものである。
 彼の装束は
 幕府の格式
 に従って
 描かれて
 いる。彼の
 表情からは
 厳格な
 人物の
 印象が
 受け取れる。
 この挿絵は
 幕府の
 権威を
 象徴する
 存在として
 描かれて
 いる。





此の巻は伊勢物語の巻の
一は伊勢物語の巻の
二は伊勢物語の巻の
三は伊勢物語の巻の
四は伊勢物語の巻の
五は伊勢物語の巻の
六は伊勢物語の巻の
七は伊勢物語の巻の
八は伊勢物語の巻の
九は伊勢物語の巻の
十は伊勢物語の巻の

伊勢物語の巻の
十一は伊勢物語の巻の
十二は伊勢物語の巻の
十三は伊勢物語の巻の
十四は伊勢物語の巻の
十五は伊勢物語の巻の
十六は伊勢物語の巻の
十七は伊勢物語の巻の
十八は伊勢物語の巻の
十九は伊勢物語の巻の
二十は伊勢物語の巻の

伊勢物語の巻の
二十一は伊勢物語の巻の
二十二は伊勢物語の巻の
二十三は伊勢物語の巻の
二十四は伊勢物語の巻の
二十五は伊勢物語の巻の
二十六は伊勢物語の巻の
二十七は伊勢物語の巻の
二十八は伊勢物語の巻の
二十九は伊勢物語の巻の
三十は伊勢物語の巻の

伊勢物語の巻の
三十一は伊勢物語の巻の
三十二は伊勢物語の巻の
三十三は伊勢物語の巻の
三十四は伊勢物語の巻の
三十五は伊勢物語の巻の
三十六は伊勢物語の巻の
三十七は伊勢物語の巻の
三十八は伊勢物語の巻の
三十九は伊勢物語の巻の
四十は伊勢物語の巻の



伊勢物語の巻の
一は伊勢物語の巻の
二は伊勢物語の巻の
三は伊勢物語の巻の
四は伊勢物語の巻の
五は伊勢物語の巻の
六は伊勢物語の巻の
七は伊勢物語の巻の
八は伊勢物語の巻の
九は伊勢物語の巻の
十は伊勢物語の巻の

伊勢物語の巻の
十一は伊勢物語の巻の
十二は伊勢物語の巻の
十三は伊勢物語の巻の
十四は伊勢物語の巻の
十五は伊勢物語の巻の
十六は伊勢物語の巻の
十七は伊勢物語の巻の
十八は伊勢物語の巻の
十九は伊勢物語の巻の
二十は伊勢物語の巻の

伊勢物語の巻の
二十一は伊勢物語の巻の
二十二は伊勢物語の巻の
二十三は伊勢物語の巻の
二十四は伊勢物語の巻の
二十五は伊勢物語の巻の
二十六は伊勢物語の巻の
二十七は伊勢物語の巻の
二十八は伊勢物語の巻の
二十九は伊勢物語の巻の
三十は伊勢物語の巻の

